

ほけんだより

保護者の
皆様へ

浦安市立高洲小学校保健室 2024年5月24日発行

水痘(水ぼうそう)流行中！！

本校では5月上旬頃から感染の報告がありました。感染者の様子では、予防接種をしているためか症状が軽く、発疹も少ないようです。毎日の健康観察をお願いするとともに、虫さされのような発疹が背中や腹部など、蚊に刺されにくい場所に見かけたら、念のため受診していただきますようお願いいたします。また、受診時には「学校で水痘がはやっている」と医師にお伝えください。

症状

はじめに小さな発疹が出てきます。次第に水疱のある発疹が体じゅうに次々に出て、全身に広がる感染症です。その後、かさぶたとなり、先に出たものから治っていきます。口の中や頭部にもできます。かゆみが強く、ひっかくと化膿することもあります。38～39℃の発熱が1～3日位見られますが、微熱程度のこともあります。まれに脳炎などの合併症がみられます。



感染予防

水痘の感染経路は、空気・飛沫・接触感染です。感染力がとても強いので、ウイルスが入るとすぐにうつってしまいます。石けんでの手洗い・こまめなうがいを心がけましょう。咳エチケットで他の人にうつさないことも大切です。

出席停止

水痘は、学校保健安全法において、「学校において予防すべき感染症第二種」に定められています。出席停止期間は「すべての発疹が痂皮化するまで」です。かかりつけ医療機関で「治癒証明書」発行してもらい、出席停止明けの登校時に学級担任に提出してください。

アタマジラミにご注意を！！

本校で、アタマジラミの感染が複数件確認されました。アタマジラミは衛生状態に関係なく先進国でも感染例が多数見られ、誰にでも感染する可能性があります。つきましては、今後の集団感染を防止するため、以下の内容をお読みいただき、ご家庭での観察と予防、発見された場合の対応についてご協力をお願いします。

アタマジラミとは

＜アタマジラミの卵＞

産卵された卵は楕円形の乳白色で大きさは 0.5mm大。1 個ずつバラバラに髪の毛の根元から数 cm の所に産み付けられます。フケによく似ています。

＜アタマジラミの成虫＞

体の色は灰色で体長は雌が3～4 ミリ、雄が2 ミリ。約7日の卵期間を経てふ化します。成虫の寿命は20～30 日です。



頭髮を観察するポイント

卵は、襟足・耳の後ろ・前髪にくっついていることが多いです。観察する際は、髪の毛をかき分けながらじっくり見てください。

アタマジラミが見つかったら

- 皮膚科や薬局で相談してください。専用のシャンプーやローションもあります。
- アタマジラミは60℃以上で死滅するため、頭に直接触れる帽子や寝具は、洗濯後に乾燥機やアイロンを使用すると卵を死滅させることができます。
- 帽子やタオルなどを友達や家族で貸し借りしないよう、お子さんにお話してください。
- 「アタマジラミ＝不衛生」というような偏見があるためか、感染したことを伏せてしまいがちです。しかし、集団感染を防ぐためには、学校やスポーツクラブ、仲の良いお友達などに連絡していただき、みんなで予防することが大切です。

感染予防

- 毎日髪を洗いましょう。子どもが一人で洗髪している場合は、時々大人が見てあげましょう。早期発見することができます。
- ブラシ、帽子、タオル等の貸し借りはやめましょう。